
仮面ライダーオーズ 最後に残るもの

桂

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

仮面ライダーオーズ 最後に残るもの

【コード】

N8905V

【作者名】

桂

【あらすじ】

最後の戦いへ向かうそれぞれ

映司、アネク、比奈・・・そして真木と鴻上かな。

(前書き)

随分と間が開いたのはこの暑さと・・・

本編の素晴らしさだよね。

ああ、残りもあと少し

・・・死なせない。

絶対、死なせない・・・

「アंक！！！」

うおおおお！！！！

映司が取り戻した欲は想像以上に大きかった！

「素晴らしい！素晴らしいよ火野くん！！」

鴻上は興奮した。

この眼で見たいと思っていたものが、今正にこの場で自分の手によって、完成し生まれようとしていた。

「見たまえ！神の誕生だ！！！」

800年前の王が成し得なかった事を私は遣って見せたのだ！
王の器を見付け、此処まで導いて来た私の目に狂いはなかった。
新世紀の始まりを私はこの目で確かめられるのだよハハハハと高々と満足げに笑った。

自己満足の「世界の終末」を望むグリード真木。

彼は映司やアंकへのコアメダルの集中を諦め、ウヴァへと計画を変更していた。

「私の計画はウヴァくん、貴方に進めてもらおう事にしましょう」

火野映司をグリード化させ、暴れ狂う彼を何の迷いも無く倒し、紫のメダルを総て回収する目論みは、まさかのアंक裏切りに遭い、回収する事は叶わなかった。

しかし変わりと言う訳ではないが、真木は去り際にアंकのコアを数枚奪い立ち去っていた。

自分のコアを3枚失い、真木に数枚持ち去られ、この身に残ったコアは心許無い物……

「アंक！？」

傷つき力なく比奈の前へ現われたアंकは、今にも消えてしまいそうなほど、弱々しく感じた。

「アंक、映司くんが」

「ああ……あいつの所にはオレが行く」

今まで見た事が無い綺麗で何処か儂げな笑みを見せるアंकに、比奈は嫌な予感を感じていた。

このまま行かせたらアंकは、二度と帰ってこない……そんな気がしてならなかった。

「帰って来るよね。映司くんと帰ってくるよね」

伏せたアंकの表情は、比奈からでは見えなかった。それでも比奈は言葉を飲み込まず言い切った。

「アंक！ 私、みんなを、待ってるから」

映司くんもお兄ちゃんも。

そしてアंकもだよと。

アंकは信じられない、そんな感じで、比奈へと振り返っていた。

「待ってる」

比奈の大きな瞳から綺麗な涙が零れ落ちていた。

(後書き)

ネタばれは大丈夫だよね。

また意味の無いものを・・・何か有りましたらゴメンなさい。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8905v/>

仮面ライダーオース 最後に残るもの

2011年10月8日19時21分発行